

意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

1 意見公募案件

「四万十町過疎地域持続的発展計画」の策定に係る意見募集について

2 意見の募集期間

令和8年1月13日（火）から令和8年2月3日（火）まで

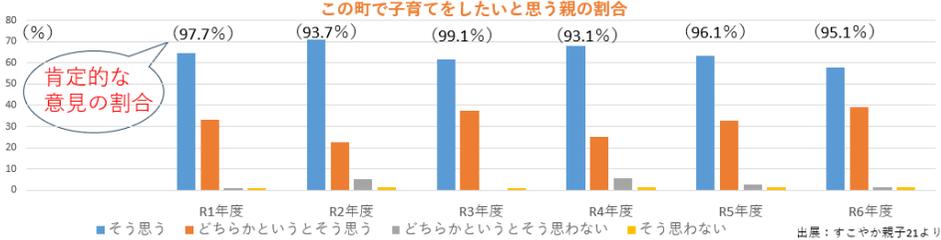
3 意見の提出者数及び意見数

1人（5件）

4 意見に対する町の考え方

下表のとおりです。なお、意見公募手続条例第11条第2項の規定により、ご意見中、個人に関する情報で特定の個人が識別し得る情報がある場合及び法人等の財産権等を害する恐れがあると判断される場合には、公表の際に当該箇所を伏せさせていただいております。

受付No.	意見	意見に対する町の考え方
1	<p>お世話になっております。1町民として、意見させていただきます。</p> <p>①子どもが産める病院が四万十町に欲しいです。高知市内までいかないと子どもが産めない現状があるため、少子化、この町の住みづらさに関係していると思います。移住者を呼び込んでいく状況の中で、上記の件はネックになると思います。</p>	<p>①我が町の出産や少子化についての貴重なご意見をありがとうございます。全国的な産科医師不足、医師の都市部への偏在などもあり、四万十町として産科を誘致することは厳しいのが現状であります。</p> <p>そのため、四万十町としてできる事として、安心して妊娠、出産、子育てができるよう、助産師、保健師による個別相談や家庭訪問を実施しております。</p> <p>また、産婦人科・小児科オンライン相談サービス等、直接、産科・小児科医師、助産師、看護師につながる相談サービスを実施しているところです。</p> <p>経済的な支援としては、近隣の産科医療機関へ通院する際の通院費助成を行っています。</p> <p>乳幼児健診時に「この町で子育てをしたいと思うか」を問うアンケートを実</p>

受付No.	意見	意見に対する町の考え方																																			
	<p>②保育園無償化</p> <p>③野球部の復活よりも他に回すべき予算があるのではないのでしょうか？</p>	<p>施しています。その結果、「そう思う」「どちらかというと思う」を肯定的な意見として捉えると、全体の9割の方が肯定的な意見として回答していただいております。</p> <p>ご不便をおかけしておりますが、おひとりおひとりに向き合い、安心して出産、子育てができるよう努めてまいりたいと思います。</p>  <table border="1"> <caption>この町で子育てをしたいと思う親の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>そう思う (%)</th> <th>どちらかというと思う (%)</th> <th>どちらかというと思わない (%)</th> <th>そう思わない (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1年度</td> <td>97.7%</td> <td>32.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R2年度</td> <td>93.7%</td> <td>22.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R3年度</td> <td>99.1%</td> <td>38.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R4年度</td> <td>93.1%</td> <td>25.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R5年度</td> <td>96.1%</td> <td>32.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>R6年度</td> <td>95.1%</td> <td>38.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出展：すこやか親子21より</p> <p>②幼児教育・保育の無償化については、国の制度として令和元年10月1日から始まっており、その対象者は「3～5歳児クラスのすべての子ども」と「0～2歳児クラスの住民税非課税世帯の子ども」となっています。</p> <p>無償化対象をすべての子どもに拡大することも子育て支援策の一つです。四万十町でそれを実施するためには、年間約2,500万円の財政負担が必要となりますので、実施については町長等の政策判断に委ねられます。</p> <p>③令和7年3月に高知県が県立高等学校振興再編計画を策定し、前期計画期間の令和9年度までの高校存続に向けた各校の取組を評価・検証した上で、学校のあり方について市町村と協議し、後期計画に反映（町外の高校に統合されることも一つの選択肢）することとされています。</p> <p>現在、四万十町にある2校は定数割が続いており、まさに存続の危機に立たされていることから、様々なアクションプランを定め実行しているところですが、町としても今回の野球部復活も高校魅力化を図る取組の一つと捉えており、その予算の一部を支援するものです。</p>	年度	そう思う (%)	どちらかというと思う (%)	どちらかというと思わない (%)	そう思わない (%)	R1年度	97.7%	32.0%	0.0%	0.0%	R2年度	93.7%	22.0%	0.0%	0.0%	R3年度	99.1%	38.0%	0.0%	0.0%	R4年度	93.1%	25.0%	0.0%	0.0%	R5年度	96.1%	32.0%	0.0%	0.0%	R6年度	95.1%	38.0%	0.0%	0.0%
年度	そう思う (%)	どちらかというと思う (%)	どちらかというと思わない (%)	そう思わない (%)																																	
R1年度	97.7%	32.0%	0.0%	0.0%																																	
R2年度	93.7%	22.0%	0.0%	0.0%																																	
R3年度	99.1%	38.0%	0.0%	0.0%																																	
R4年度	93.1%	25.0%	0.0%	0.0%																																	
R5年度	96.1%	32.0%	0.0%	0.0%																																	
R6年度	95.1%	38.0%	0.0%	0.0%																																	

受付No.	意 見	意見に対する町の考え方
	<p>④第一次産業従事者をもっと大切にしたいです。この町を栄えた産業が廃れていくのは非常に残念に思います。この町の中心はあくまで第一次産業であると思うので、それを中心にした産業の中で、他の産業への挑戦、発展をしていくのが良いと思います。</p> <p>⑤議員数が多いと思います。1万人規模の町なので、2人ほど減らしても良いのではないのでしょうか？</p> <p>私自身とても魅力的な町で、都会よりも大変すみやすく、町民の方も大変優しくしていただいています。この町が今後も存続していくために、意見の査収のほど、よろしくお願いします。</p>	<p>④第一次産業従事者については、高齢化と後継者不足が進んでおり、60歳以上の割合が高い状況が続いていることから、高齢の農林漁業者の離農・リタイアに伴い、産業全体の担い手が減少している状況です。</p> <p>第一次産業従事者の減少対策としましては、新たな担い手への支援強化、就業希望者の掘り起こし、最先端技術の導入支援、そして6次産業化の推進などが挙げられますが、四万十町におきましても、国や県の動向を注視しながら、必要な支援の充実・実現に向けて調査研究を行っていきたいと考えております。</p> <p>⑤議員の定数につきましては、地方自治法に基づき、各自治体の議会が条例により定める事項となっております。そのため、執行機関である町が議員定数の増減について判断したり、提案したりする立場にはございません。</p> <p>しかしながら、四万十町議会においては、令和5年6月に「議会改革調査特別委員会」が設置され、議員定数や議員なり手不足問題等について議論されています。</p> <p>そして、令和6年12月議会定例会において、「四万十町議会の議員の定数を定める条例」の改正が可決され、その中で、議員定数については令和9年2月10日任期満了に伴う次回選挙から、現在の定数16人から14人に2人減ずることとなっています。</p> <p>よって、結果的に今回いただきましたご意見と同様の定数となる予定ですが、このご意見は今後の行政運営の参考とするとともに、必要に応じて議会へ情報提供を行うなど、適切に取り扱ってまいります。</p>

※意見に対する町の考え方を整理して記載するため、ご意見に番号を附番させていただいております。